

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－	－
	○	一般小売店 〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・全国旅行支援のクーポンを使う客がいる。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	それ以外	・12月前半は例月とほとんど変わらなかったが、イルミネーションのイベントが始まった中旬から急に人の流れが多くなり、新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻っている。それに伴い来客数も増えており、特に新型コロナウイルス感染症関連商品が動いている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・上旬は低調であったが中旬以降回復し、月全体として平年と変わらない動きとなっている。低調だった3か月前よりはやや良くなっている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数が前年比93.1%、買上点数が97.1%となっている。来客数、買上点数共に減少しているが、1品単価が106%、客単価103.2%と1人当たりの買物金額が増えており、景気はやや良い状況になっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は相変わらず多いが、人の流れが良くなってきている。全国旅行支援の効果により、地域クーポン利用客も増えている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数の減少を単価増がカバーし、売上の増加につながっている。しかし、人流はかなり活発になってきている。
	○	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・これまでの生産遅延が若干解消傾向にあり、客への納車も進んだため収益状況が改善している。
	○	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・降雪による冬物商材の動きが活発である。特に単価の高い商品の動きが良い。良いものにはお金を使っている。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症発生前と比べて宴会の数が減り、飲み方のスタイルも変わっており、人出も少ない。昔の忘年会シーズンとは違う。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・全国旅行支援の延長もあり、順調に推移している。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・全国旅行支援により12月までの国内需要は9月と比較して上向き傾向にある。海外需要は依然厳しい状況が続いている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・全国旅行支援の影響で販売量が好転している。しかし、海外旅行は2019年比で10%、訪日はゼロベースであり、全てが良くなっているわけではない。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・コロナ禍は続いているが、忘年会は例年と異なって12月にまんべんなく行われており、タクシーの需要は非常に多くなっている。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前にはいなかった実車したままタクシーを待たせる利用者が出てきている。また、目的地への片道利用ではなく、往復での利用者も出ている。売上は前年比1.4倍が見込まれる。
	○	競艇場（職員）	来客数の動き	・年末年始は大きなレースの開催が多いため来客数が伸びており、売上が良くなっている。
	○	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・造成地条件分譲による戸建て住宅の受注予約がかなり確定している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるなかで、商店街の売上は横ばいである。客の消費意欲は食品や光熱費の値上がりの影響を受けており、3か月前と変わらない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今月は抗原検査キットやヘルスケア商品の販売が好調に推移しているが、化粧品が少し落ち込んでいるため、全体的には前年比100%である。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・お歳暮ギフトはほぼ例年並みの販売量だが、今年は単価を下げて購入する客が多くみられた。また、飲食店向けは、クリスマスが週末だったこともあり、販売量は期待していたよりも伸びなかった。	

□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・年末にもかかわらず商品の動きは鈍い。利益の上がる仕立ての仕事が大変少ない。当地域でも新型コロナウイルス感染症が感染拡大しており、思うようには動くこともできず、ダブルで痛手である。
□	百貨店（計画担当）	来客数の動き	・12月は来客数が戻ってきている。
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・12月の平均1品単価前年比が5%を超えてきた。来客数の前年割れは同じ傾向だが、買上点数の減少率が来客数の減少率より大きくなっており、買い控えがみられる。ただし、売上前年比は前年並みで、横ばいである。新型コロナウイルス感染症発生前には戻っていない。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品の値上がりがいまだに続いており、買上点数が減少傾向にある。
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前とそれほど変わらず、少し悪い形での横ばいであり、なかなか上向いてこないのが現状である。品物がどんどん高くなっていることが原因とみている。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響がいまだ続いているため、人の動きが悪い。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の変動が少ないため変わらない。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の回復がみえない。商品単価上昇で売上が確保されている状況である。
□	コンビニ（店長）	単価の動き	・商品の価格が軒並み値上がりしている割には、客に極端な買い控えはみられない。最低賃金もアップしており、それほど景気が悪いという感じは受けない。
□	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・仕入価格の高騰により売価も上げざるを得ず、購入を見合わせる客先が増加している。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・防寒性が高い高額アウターを求める人は多くなってきたが、物価高騰による買い控えは継続している。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・一部車種の生産ストップや納期の大幅な遅延により、個人の消費がなかなか伸びない。
□	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新車納期の改善はなく、前年から変わらず推移している。来客数も変わらない。購入予定をはやめてもらうことで販売活動の見直しをしているが、まだ売上実績には変化がない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数は増えてきており、受注もそれなりに増えつつある。しかし、納期が不安定であるため収益が安定しない。
□	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・いつもより早いまとまった降雪で期待はあったが、気温が下がらず当地の除排雪関連業者では今一つ感がある。スキー場などは早くからの営業開始ができた。暖房用燃料関係業者については気温がもう少し下がってほしいところである。
□	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・正月の準備と一緒に仏壇の整備を行う人が多いようで、小物仏具類の販売量が多くなっている。寒さは厳しいが雪が少ないことも後押ししている。
□	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・公務員のボーナス時期に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したため、地元飲食店は集客、売上に苦戦している。店頭販売も低調とまではいかないが伸び悩んでおり、やや苦戦している。
□	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・年末は、防寒着や各種出ている防寒グッズが予想よりも動いていない。寒さが早くきていればもっと動いていたかもしれない。企業はなるべく経費を抑えているようである。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	お客様の様子	・鉄道を含め、人の流れはかなり出てきているものの、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、客の買物行動が今一つ盛り上がっていない。
□	高級レストラン（支配人）	お客様の様子	・客の会話が弾んでいる様子がみられる。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年のクリスマスは前年よりは客が来ているが、ピーク時の6～7割程度にとどまっている。依然として厳しい状態が続いている。

□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊業は全国旅行支援で集客が伸びている。しかし、ここ最近の原材料の価格高騰が利益を圧迫している。
□	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・秋季は全国旅行支援の実施により販売が伸びたが、閑散期に入り販売が大きく落ち込んでいる。1月の全国旅行支援の詳細発表が遅れていることから予約の停滞も起きており、1月初旬の販売に影響が出るとみている。
□	通信会社(経営者)	お客様の様子	・12月から年末キャンペーンが始まり若干加入者が増えてきた。しかし、テレビにインターネットをつないでみる人が増えているなど、若者を中心にテレビの見方が変わってきたこともあり、有料テレビの新規の加入者は伸び悩んでいる。一方でインターネットサービスの加入者は増加し、今年度で最も多い加入者を獲得している。テレビとネットの合計でみると変化はない。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の購買意欲に変化はみられない。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客からは相変わらず経費削減の話ばかりである。
□	観光名所(職員)	来客数の動き	・例年12月は少し暇な時期になる。10月、11月と比べて団体客は減っているが、インバウンドが増えてきている。団体客が減った分をインバウンドが補って、景気は変わらない状況になっている。
□	遊園地(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響に加えて、冬の寒さが本格的になり、クリスマスが週末にもかかわらず、前年程度にとどまっている。
□	美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数がここ数か月連続で前年比90%を割っている。新規来店率は低く、再来店客数も少なめの状況が続いている。
□	美容室(経営者)	来客数の動き	・寒くなったため、客の出足も鈍くなっている。
□	その他サービス [自動車整備業](経営者)	販売量の動き	・人出、売上共に少なく、年末年始の好況感はない。依然、低調が続いている。
□	その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・住宅設備機器はガス給湯器を交換する工事が増えている。故障がなくても交換したいとする問合せも増えている。リフォームは補助金制度を対象とした工事が増えている。
□	その他住宅[住宅展示場運営会社](従業員)	来客数の動き	・来場組数は前月比70%、前年比100%になっている。12月は来場組数が減少する月のため、例年並みである。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・年末需要が減少している。
▲	百貨店(経営者)	販売量の動き	・平日と週末の動きに差がある。全体的には新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や物価高の影響で、不要不急の買物自粛がみられる。ただし、高額品については堅調に推移している。
▲	スーパー(企画担当)	来客数の動き	・商品の値上げが相次ぎ、販売価格を上げざるを得ない状況である。客は今までよりも更にシビアに他社との価格比較を行い、店舗を選んでいるようである。
▲	スーパー(営業担当)	販売量の動き	・来客数が前年を下回り、買上点数が減少している。いろいろな値上げで客の購買は慎重になっており、必要最低限の買物しかない。無駄な消費を抑えている感じがうかがえる。
▲	スーパー(営業担当)	お客様の様子	・物価や光熱費の高騰の影響で、食事に掛ける時間と費用の中身が変わってきている。調味料やガス・電気、時間などを節約し、外食やデリバリー、総菜、レンジアップ品などの需要が高まっている。新型コロナウイルスの新規感染者数も高止まっており、保存食のまとめ買いも価格に敏感になっている。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数が減少しており、夕方は特に少なくなっている。
▲	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、来客数の減少傾向が続いている。

▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・少しづつ新型コロナウイルス感染症による自粛から解放されてきており、出掛ける計画を立てる客も出てきているが、その反動は期待したほどではない。物価の上昇や冬の光熱費の値上がりがブレーキになっているのではないかと。小売業としては、経済が回らなくなるブレーキ報道はできれば少し抑えてほしい。
▲	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・行動制限解除後、時間の経過とともに来客数が増えている。一方で、物価高のなか賃金がなかなか上がってこない状況下において、以前のように高単価商品を購入する人が減少している。
▲	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・物価の上昇、新型コロナウイルスの感染拡大で、夕方の来客数が減少している。客は買物に慎重になっており、買上点数も下がっている。
▲	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・コロナ禍での行動制限がないなかで来客数は増加していくとみていたが、前年比95%と減少しており、来店及び購買につながっていない。光熱費や物価の上昇により、生活必需品以外の購買は控える傾向にある。
▲	家電量販店 (店長)	販売量の動き	・値上がり傾向により、客は電気代などが掛かる電化製品の購入を控えているようである。エアコンなどよりも石油暖房の購入件数が増えている。大型冷蔵庫など消費電力の少ない物、単価の高い物はよく売れているが、買換え需要や新築需要での売上は伸びていない。
▲	家電量販店 (従業員)	販売量の動き	・年末のボーナス商戦の時期ではあるが、初売りに向けての買い控えをしている客がいる。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響がある。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・回復傾向にあった燃料油の販売量は、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加とともに販売量が低下している。
▲	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・売上が目標に達していない。来客数も減少している。
▲	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・全国旅行支援は実施されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や物価高の影響か、来客数は減少している。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・物価高騰や新型コロナウイルスの感染拡大、増税案等が将来に不安を与えている。日本銀行の実質利上げもあり、景気回復は今のところ見通しが立たないため、やや悪くなっている。
▲	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・12月や来年3月引渡しの案件を完工させると次に控える仕事がないという取引先企業が幾つもある。
×	一般小売店 [書籍] (経営者)	販売量の動き	・来客数、単価、売上のいずれも減少しており、景気が悪くなっている。
×	百貨店 (売場担当)	来客数の動き	・来客数減少に加えて客単価も下がってきている。要因としては、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加よりも物価上昇による購買意欲の低下が大きい。
×	百貨店 (催事担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響により、来客数が前年同月比で減少している。また、食品を始めとする各種値上げに伴い、生活防衛意識が強まっており、客の消費マインドが鈍くなっている。
×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・地域発行の商品券が配られているにもかかわらず財布のひもは固く、額面の上限以上の買物はしていない。
×	コンビニ (経営者)	それ以外	・ただでさえ例年冬は厳しいのに、電気料金が値上がりし、経営が困難な状況となっている。もう打つ手もない。春まで持たない店が出てくるような状況である。
×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・リベンジ消費が一巡したためか、12月に入り前年に追い付かない状況になっている。前年と比べてかなり苦戦している。
×	その他専門店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・お歳暮ハイシーズンだが、値上げの影響が大きいいためか来客数も増えず単価も上がらない。ネット販売が好調なわけでもない。ニュース等で値上げの話題が毎日のように取り上げられ、財布のひもが固くなっているとみている。
×	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症がいつ終息するのかという話ばかりで、商売の方は動きがない。

	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月中旬までは来客が全くなく、予約があっても新型コロナウイルス感染症に感染若しくは濃厚接触者になったことによるキャンセルが相次いでいる。今まで経験したことがないような12月である。
	×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・相次ぐ値上げで生活費が圧迫されている。当店も値上げをしているが、客足が減るため、本来の利益率まで値上げすることができず利益が薄くなっている。さらに、宴会予約のキャンセルも増加している。理由は全て新型コロナウイルス感染症に感染してしまった人がいるための開催見送りである。まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、周りで感染した人がいれば巻き込まれて行動が縛られるため、いまだに夜の繁華街は静かである。
	×	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・各種物価高騰により、消費者の収支状況が今までにないくらい厳しくなってきた。
企業 動向 関連 (東北)	◎	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・全国旅行支援のクーポン等を利用する観光客で特に土日の店舗集客が多い。ギフト需要も前年を上回っている。
	○	建設業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・各種報道で景気が踊り場にあることを感じるようになってきており、消費マインドにも影響が出ているようである。
	○	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢、中国の景気動向等により、景気が良くなりかけたり悪くなったりにしているが、最近ようやく若干良くなりつつある。
	○	金融業(広報担当)	取引先の様子	・全国旅行支援の効果もあって観光・宿泊業の業況が好転している。飲食業も回復途上ではあるが底は脱した感がある。一方で、原料高、円安に起因する物価高が続くなか、消費マインドは今一つ鈍いままである。
	○	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルス感染症への過剰な防衛意識が薄れ、年末ということもあり消費は上向き傾向にある。
	○	その他非製造業 [飲食料品卸売業](経理担当)	受注量や販売量の動き	・値上げが続いているが、特売商品の増加で前年を上回っている。
	□	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いており、景気が悪い状況に変わりが無い。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注自体は堅調だが、特に大きな動きはない。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・12月は雪の影響が軽微で、工事の追い込みは順調である。一方、春先までの工事受注の減少で、今年の完成工事高は前年比マイナスとなる見込みである。
	□	通信業(営業担当)	取引先の様子	・客の反応が冷え込んでいるなか、今後受注するためには新規設備投資の必要がある。明るい状況にない。
	□	広告業協会(役員)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているものの、人流はかなり戻っている。しかし、物価高騰のおおりに受けて消費マインドが冷え込み、企業の販促活動にマイナスの影響を及ぼしている。それにより、広告業界の業績は横ばいの状況が続いている。
	□	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。サービス業関係では一部客が戻ってきていない業種があるが、小売、飲食関係は新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、少しずつ売上等が戻ってきている。建設、製造業関係は一定の業績を確保しており、全体としての景気はやや良いとみている。
	□	コピーサービス業(従業員)	受注量や販売量の動き	・商品値上げ前の駆け込み受注を期待したが、思うほど受注が伸びず期待が外れた。新製品の発表も特になく、現状を維持するのが精一杯である。
	▲	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・今年のもも、りんご、ぶどうの収穫量は前年の2~3割増しと豊作で、販売単価は前年の2~3割安くなっている。
	▲	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・米の農協出荷後の追加払いが期待していたより少なかった。
▲	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症による行動制限がないため、土産需要は堅調である。しかし、歳暮需要に関しては受注件数、客単価共にマイナスである。物価や電気料金等の値上がりの影響が出ているとみている。	

	▲	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・値上げが必要な状況にもかかわらず、価格競争が発生している。
	▲	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・出荷は前年比2けたのマイナスがずっと続いており、回復の兆しが全くみえない。諸資材の高騰により経営面で非常に厳しい。
	▲	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・客先の設備投資の話題が少なく、3か月前と比べても見積りの件数が少ない。
	▲	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・見積案件数が減少している。同業他社からも同様の声が聞こえている。
	▲	電気機械器具製 造業（営業担 当）	取引先の様子	・修繕費用を従来よりも削減している。
	▲	電気機械器具製 造業（企画担 当）	取引先の様子	・メモリ半導体は客の投資遅延が見受けられ、一時的に景気が下がる可能性がある状況にある。メモリの潜在需要が下がっている印象は受けないため、コンテナや各種材料等の世界的な供給不足と、半導体を使う最終製品の出荷減が原因と考えている。
	▲	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・メイン事業のデバイス関連の受注、売上減少と半導体事業の落ち込みにより、売上は減少している。
	▲	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・大口の受注契約がない。
	▲	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・取引先の業績回復が見通せず、受注量の見通しが立たない。
	▲	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	それ以外	・様々な商品の値上がりにより、買物量や種類を減らす傾向がみられる。電気代の負担が今年は増えていると訴える人が多い。
	×	その他非製造業 〔飲食品卸売 業〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、業務用における動きが前年よりも更に停滞している。
雇用 関連 (東北)	◎	*	*	*
	○	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・飲食業や卸売業、システム業界、IT関連企業、食品加工の工場、専門商社といったあらゆる業種から、求人の依頼や問合せが増えている。
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数の増加が顕著で、適切なマッチングを促進していくことで成約件数を伸ばせる状況にある。
	○	新聞社〔求人広 告〕（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、特に規制もないため経済は回り出しており、求人広告に対する需要は増加傾向にある。しかし、多くの企業で人材確保が大きな課題となっていることから、求める人材を確保しにくくなっているとみている。人材確保が計画どおりできていないことは長期的にマイナスに働く可能性が大きい。
	○	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数は18か月連続で増加しており、雇用状況については改善している。人手不足を訴える事業所は業種、規模を問わず多い。
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの新規感染者数の急増により、求職者の動きは決して良い状況ではない。
	□	新聞社〔求人広 告〕（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、イベント等は復活しており、経済が回ってきている感じはある。しかし、忘年会や新年会等、飲食を伴う会は依然激減したままの状況である。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・宿泊業、飲食サービス業の新規求人数が増加傾向にあるものの、求人倍率が3か月前と比べて低下している。
	□	その他雇用の動 向を把握できる 者	周辺企業の様子	・人手不足から企業の採用意欲は高いものの、労働力人口の減少等から採用に至っていない。従業員が担保できず廃業する事業所も発生している。
	▲	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・今月も売上が前年実績を下回っている。業種を問わず伸びに欠けている。
	▲	職業安定所（職 員）	それ以外	・物価高の影響による節約志向で消費が伸びない。新型コロナウイルスの感染拡大により職場単位での忘年会等の開催に慎重で、飲食店での消費も伸び悩んでいる。

	▲	学校 [専門学校]	周辺企業の様子	・物価高騰による支出の増加から、経済活動が停滞している。
	×	アウトソーシング企業 (経営者)	それ以外	・電気代を始め、紙代など全てが値上がりしているが、客とは年度契約のため価格転嫁ができない。